

教育問題

問 白馬高校存続の危機について

答 地域発展のためにも存続しなければ



太田 伸子 議員

【白馬高校について】

問

地域高校として村にある意味は。

村長

白馬高校は、白馬・小谷両村の組合立として設立され、その後、県立に移管され平成23年には創立60周年記念事業が行われました。また、スキー部の活躍は栄光の軌跡といわれるほど目覚ましく、地域のスキー産業の発展にも大いに寄与してまいりました。地域の子供は地域で育て、この地域に貢献できる人材を育成する。この理念に基づき、これまで大勢の素晴らしい人材を輩出してまいりま

した。地域の人々の熱い信念のもとに、地域高校として地域発展のためにも大きな意義があり、特色を生かし地域に

根ざした白馬高校として存続していかねばならないと考えています。



白馬高等学校

問

キャンパス化（分校化）の危機は。

村長

県教育委員会の高等学校改革プランの再編基準では、全校生徒が160名以下で、かつ、卒業生の半数以上が当該高校へ入学している中学校がない状態が2年連続した場合、地域キャンパス化、他校との統合、募集停止のいずれかとするとなっています。現在、白馬高校は162名であり、平成25年度には60名を迎え入れないと160名を割る状況であり、生徒数確保が大きな課題です。

【スノーハープについて】

問

土壌調査の結果は。

村長

盛土材の一部に浸透機能と集水機能が低い層があり、表面より地下への浸透水を阻害している可能性が高いと結論づけられます。メイン会場の南北の高低差をフラットにするためには多大な費用と時間がかかるため、機能を優先した改修計画を検討しています。

【村活性化について】

問

白馬の夏祭りの場所の変更の予定は。

村長

夏祭り実行委員会の検討の結果、現在の所で行うとの結論に至った経緯があり、会場変更の予定はありません。

問

実行委員会の構成は。

観光農政課長

深空地区とみそら野地区の当役の皆さまです。

問

開催時間の変更と子供たちが楽しめるような

企画は。

村長

自然体験村が午後5時まで開催しているため、準備の関係で午後6時からとなります。子供たちに人気のある出店をお願いしています。工夫の余地はあると感じていますので、良いアイデアがあればお聞かせください。

問

来年度、リフォーム補助制度の予定は。

村長

現在、予算のヒアリングの最中で前向きに検討しています。